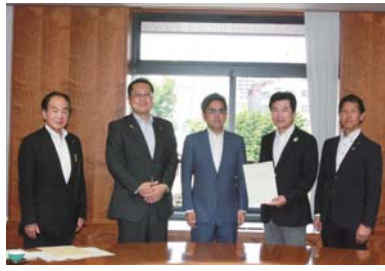


総合計画調査
特別委員会報告書

総合計画調査特別委員会では、3つの分科会を設置し、第6次総合計画について調査研究を行った。調査を終了したことから、報告書を議長に提出した。開会日に議場で委員長が報告を行い、同日、報告書を市長に提出した。



▲正副議長、正副委員長が市長に報告書を提出

報告書の概要

第6次総合計画は、本格的な人口減少局面での初めての計画となる。

経験したことのない時代を迎えるにあたり、当該計画は、予測困難な未来を切り開き、新たな宇

都宮を創造するための指針となるものである。その策定に当たっては、社会環境の変化により新たな

に顕在化する様々な課題や市民ニーズを的確に捉えることが重要となる。また、施策の方向性が市民満足度の向上に直結することが必要である。

今後、本市が中長期的に取り組みべき事項をとりまとめた、本提言を踏まえて計画を策定することを望む。

【取り組むべき主な事項】

保健・医療サービスの質を高める政策

- ・ 医療費の適正化、地域包括ケアシステムの構築など



愛情豊かに子どもたちを育む政策

- ・ 児童虐待への対策など
- ・ 生涯にわたる学習活動を推進する政策

- ・ ライフステージに応じた学習体系の整備、学ん

だ成果を地域で生かせる仕組みの構築など

信頼される学校教育を推進する政策

- ・ 教職員が子どもと向き合う時間の確保など



脱温暖化・循環型の環境にやさしい社会を形成する政策

- ・ 市民の意識高揚や行動喚起につながる施策など

魅力ある観光と交流を創出する政策

- ・ 観光と経済の二層の連携と強化など

円滑で利便性の高い総合的な交通体系を確立する政策

- ・ 自動車に依存しない総合的な交通体系の構築など

住宅政策の量から質への転換

- ・ 空き家などを貴重な地域資源と捉えた、居住誘導などの総合的な住宅施策の推進など

市民が主役のまちづくりを推進する政策

- ・ 市民参加や協働の機会の充実など

スポーツ・文化振興調査
特別委員会報告書

スポーツ・文化振興調査特別委員会では、スポーツ振興、スポーツを通じた観光振興と文化振興について調査研究を行った。調査が終了したことから、28年の文化振興に関する中間報告に続き、最終報告書を議長に提出した。開会日に、議場で委員長が報告を行い、同日、報告書を市長に提出した。



▲正副議長、正副委員長が市長に報告書を提出

報告書の概要

東京オリンピック・パラリンピック開催の機会を捉え、積極的なスポーツ・文化の振興と、スポー

ツ・文化を活かした新たな観光資源の創出などに取り組む必要がある。

誰もがスポーツ・文化に親しめる豊かな地域社会と、スポーツ・文化を核とした活気あふれる宇都宮の実現に向けた取り組みが推進されることを強く期待し、市が取り組むべき事項について提言する。

誰もがスポーツ・文化に親しめる豊かな地域社会と、スポーツ・文化を核とした活気あふれる宇都宮の実現に向けた取り組みが推進されることを強く期待し、市が取り組むべき事項について提言する。

【取り組むべき主な事項】

誰もがスポーツに参画できる環境づくり

- ・ 子どもや高齢者が、ライフステージに応じて、スポーツに親しめる機会の提供
- ・ 障がいや、家庭状況などに関わらず、学校や地域で自由にスポーツに親しめる環境の整備



▲ニュースポーツを楽しむ様子

- ・ マイナススポーツに取り組むアスリートの受け皿となる専門施設や、地域の活性化につながる

る特色ある施設の整備

スポーツを安全に正しく楽しく行うための指導者の育成

- ・ 市内の競技経験者などが指導者として活躍できる仕組みづくりなど

スポーツを活かした観光・まちづくり

- ・ 市内の文化・地域資源を活かした体験型スポーツの展開

見るスポーツの充実に

- ・ に向けた柔軟な施設運営による地元プロスポーツチームの
- ・ 後方支援
- ・ スポーツコミッションの設置
- ・ など、効果的な情報発信方策の検討



▲ジャパンカップサイクルロードレース

スポーツ文化振興を推進する組織体制の充実・強化

- ・ 市の実情に合わせた組織体制の構築
- ・ スポーツ・文化・観光振興に資する公益財団などの充実強化